

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	21世紀気候変動予測革新プログラム		担当部署	研究開発局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～平成23年度		担当課室	環境エネルギー課	環境エネルギー課長 田口 康		
会計区分	一般会計		施策名	X-3 環境・海洋分野の研究開発の重点的推進			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第3期科学技術基本計画(平成18年閣議決定)			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	○地球温暖化等の気候変動問題について、高精度の気候変動予測研究を行い、新規性の高い予測結果を提示すること。 ○2013年頃策定予定である「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)第5次評価報告書に貢献すること。 ○地球温暖化の抑制や地球温暖化への適応に寄与する効果的、効率的な政策や対策の立案に資すること。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	○公募により競争的に選定された研究機関により、予測の時間軸や現象に応じた、以下の5つの研究チームを編成し、これらのチームの連携により総合的な気候変動予測研究を行う。大規模な大気や海洋のシミュレーションを高精度かつ高速に行えるように開発されたスーパーコンピュータ「地球シミュレータ」を最大限に活用する。 ①地球環境予測(地球システム統合モデルによる長期気候変動予測実験) ②近未来気候予測(高解像度気候モデルによる近未来気候変動予測に関する研究) ③極端現象予測(超高解像度気候モデルによる将来の極端現象の変化予測に関する研究) ④雲解像モデリング(雲解像モデルの高度化とその全球モデル高精度化への利用) ⑤海洋微物理過程(海洋表面の諸物理過程の乱流シミュレーションを実施し、高精度な表層混合層モデルを開発)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	2,232	1,540	1,540	582	
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	2,232	1,540	1,540	582	
		執行額	2,230	1,538	1,538		
	執行率(%)	99.9%	99.9%	99.9%			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	定量的な成果目標を設定することは困難(地球温暖化の抑制や地球温暖化への適応に寄与する政策や対策の立案に資する情報を創出すること、IPCC第5次評価報告書策定に貢献する情報を創出することが成果目標であるため)	成果実績	個	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	新たな気候変動予測研究成果を創出するチーム数	活動実績(当初見込み)	チーム	5	5	5 (5)	- (5)
単位当たりコスト	307.6(百万円/チーム数)		算出根拠	平成22年度執行額/チーム数			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	科学技術試験研究委託費	577.1百万円		※平成23年度限りの経費			
	非常勤職員手当	2.8百万円					
	委員等旅費	0.7百万円					
	諸謝金	0.4百万円					
	庁費	0.4百万円					
	職員旅費	0.4百万円					
計	581.8百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、2013年(平成25年)頃に策定する「気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)第5次評価報告書への貢献を目指した事業であることから、当該報告書の作成に際し有用な予測結果が提示される平成23年度をもって終了することとした。 なお、平成23年度については、地球シミュレータの使用料を効率化した上で(独)海洋研究開発機構の運営費交付金として一括計上した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成23年度をもって廃止することとしている。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
所見のとおり、平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成23年度をもって廃止する。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

文部科学省
1,538百万円

非常勤職員手当 : 2.4百万円
旅費 : 0.2百万円
庁費 : 0.2百万円 } を含む

各事業の企画、立案、進捗
状況管理、指導等

[公募・委託]

A. 地球環境
予測
(独)海洋研究
開発機構
233百万円

地球システム統
合モデルによる
長期気候変動
予測に関する
研究を実施

[公募・委託]

B. 近未来気
候予測
東京大学
883百万円

高解像度気候
モデルによる近
未来気候変動
予測に関する研
究を実施

[公募・委託]

C. 極端現象
予測
(独)海洋研究
開発機構
346百万円

超高解像度気
候モデルによる
将来の極端現
象の変化予測
に関する研究を
実施

[公募・委託]

D. 雲解像モ
デリング
名古屋大学
37百万円

雲解像モデルの
高度化とその全
球モデル高精度
化への利用に
関する研究を実
施

[公募・委託]

E. 海洋微物
理過程
東京大学
37百万円

海洋表面の諸
物理過程の乱
流シミュレーシ
ョンを実施し、高
精度な表層混合
層モデルを開発

[公募・再委託]

F. 地球環境予測
35百万円
大学・独立行政法人等
(全4機関)

[公募・再委託]

G. 近未来気候予測
89百万円
大学・独立行政法人等
(全3機関)

[公募・再委託]

H. 極端現象予測
京都大学
26百万円
(独)土木研究
所
22百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位 : 百万円)

※公募はいずれも文部科学省が初年度に実施

A.(独)海洋研究開発機構			E.東京大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員	99		電子計算機諸費	24
業務実施費	雑役務費(プログラム作業支援、学会参加費等)	29	業務実施費	外国旅費(国際学会等)	1
	外国旅費(IPCC等)	19		その他(消耗品費、国内旅費、諸謝金、雑役務費等)	2
	印刷製本費(成果報告書等)	6	人件費	業務担当職員	9
	国内旅費(研究運営委員会等)	3	一般管理費	上記経費の10%	1
	会議開催費(研究運営委員会等)	2			
	諸謝金(研究運営委員会等)	2			
	その他(消耗品費、電子計算機諸費、外国人等招聘旅費等)	9			
委託費	共同研究の委託費	35			
一般管理費	上記経費の10%	18			
設備備品費	解析用計算器/計器	11			
計		233	計		37
B.東京大学(大気海洋研究所)			F.(財)電力中央研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
業務実施費	電子計算機諸費	705	人件費	業務担当職員	5
	雑役務費(ファイルサーバ保守、論文投稿等)	8	業務実施費	雑役務費(数値実験補助業務)	3
	外国旅費(国際学会等)	7		その他(消耗品費、国内旅費、消費税相当額)	1
	消耗品費(記録媒体等)	3	一般管理費	上記経費の10%	1
	外国人等招聘旅費(研究ワークショップ)	3			
	国内旅費(研究運営委員会等)	2			
	その他(諸謝金、会議開催費、印刷製本費等)	4			
委託費	共同研究の委託費	89			
人件費	業務担当職員、補助者	42			
設備備品費	ファイルサーバーシステム ディスク	12			
一般管理費	上記経費(電子計算機諸費の一部除く)の10%	8			
計		883	計		10
C.(独)海洋研究開発機構			G(独)海洋研究開発機構		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
業務実施費	電子計算機諸費	181	人件費	業務担当職員	36
	雑役務費(調査研究補助、論文投稿等)	19	業務実施費	雑役務費(数値実験補助業務)	20
	外国旅費(国際学会等)	8		外国旅費(国際学会)	3
	外国人等招聘旅費(研究ワークショップ)	4		国内旅費(研究運営委員会等)	1
	国内旅費(研究運営委員会等)	4		その他(消耗品費、印刷製本費、諸謝金等)	3
	消耗品費(記録媒体等)	4	設備備品費	データ解析端末	1
	印刷製本費(成果報告書等)	2	一般管理費	上記経費の10%	6
	その他(諸謝金、会議開催費、通信運搬費等)	7			
人件費	業務担当職員	49			
委託費	共同研究の委託費	48			
設備備品費	解析データ格納装置	10			
一般管理費	上記経費の10%	10			
計		346	計		70
D.名古屋大学			H.京都大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
業務実施費	電子計算機諸費	24	人件費	業務担当職員	15
	その他(消耗品費、国内旅費、諸謝金等)	1		国内旅費(研究運営委員会等)	2
人件費	業務担当職員	11	業務実施費	外国旅費(国際学会)	1
一般管理費	上記経費の10%	1		消耗品費(電子媒体等)	1
				電子計算機諸費	1
				その他(通信運搬費、雑役務費等)	2
			設備備品費	RAID装置	2
			一般管理費	上記経費の10%	2
計		37	計		26

費目・使途
 「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人 海洋研究開発機構	地球システム統合モデルによる長期気候変動予測に関する研究の実施	233	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	高解像度気候モデルによる近未来気候変動予測に関する研究の実施	883	企画競争	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人 海洋研究開発機構	超高解像度気候モデルによる将来の極端現象の変化予測に関する研究を実施	346	企画競争	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	名古屋大学	雲解像モデルの高度化とその全球モデル高精度化への利用に関する研究の実施	37	企画競争	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	海洋表面の諸物理過程の乱流シミュレーションを実施し、高精度な表層混合層モデルを開発	37	企画競争	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人電力中央研究所	気候モデルの比較・検証実験の実施	10	企画競争	—
2	独立行政法人農業環境技術研究所	穀物生産に関する気候変動の影響評価研究	9	企画競争	—
3	国立大学法人茨城大学	沿岸域災害に関する気候変動の影響評価研究	8	企画競争	—
4	財団法人高度情報科学技術研究機構	気候変動予測の不確実性低減に資する基盤技術開発	8	企画競争	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人 海洋研究開発機構	高解像度モデルの開発・実験の実施	70	企画競争	—
2	北海道大学	海洋生態系等の将来予測の実施	10	企画競争	—
3	独立行政法人 国立環境研究所	気候変動予測の不確実性低減に関する研究	9	企画競争	—

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	京都大学	自然災害に関する気候変動の影響評価研究	26	企画競争	—
2	独立行政法人 土木研究所	自然災害に関する気候変動の影響評価研究	22	企画競争	—